

| 会 議 録 | | 令和6年12月19日作成 | 令和10年3月末日廃棄 |
|---------|---|--------------|-------------|
| 会議名 | 京都府南警察署協議会（令和6年度第3回） | | |
| 開催日 | 令和6年12月12日（木曜日） | | |
| 時 間 | 1 午後1時50分から同2時35分までの間（45分） 2 午後2時55分から同3時40分までの間（45分） | | |
| 場 所 | 1 京都府警察直轄警察犬訓練所 2 京都府南警察署 講堂 | | |
| 出席者 | 高岡会長、塩崎副会長、寒川委員、高橋委員、戸倉委員、村上委員、囃司委員 （欠席 影井委員、清水委員、矢部委員、桑原委員） 計7人 ----- 署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、 交通課長、警備課長、広聴・相談係長 計10人 | | |
| 諮 問 事 項 | 警察犬の活動について | | |
| 会 議 内 容 | <p>1 警察犬訓練状況等の見学～鑑識課機動鑑識隊警察犬係</p> <p>【委員】警察犬として活動させる上で資質の見極めは、どの点を注視されているのか。</p> <p>【警察】係官とふれあいたいとの喜求性を持っている犬を重要視している。また、これまで多くの警察犬を見ている中で、芯のある性格を持っている犬は警察犬として大成しているように思われる。</p> <p>【委員】警察犬として優秀な犬同士を掛け合わせて犬を生み出すのか。</p> <p>【警察】警察犬として採用後、「搜索」や「臭気選別」等のそれぞれに特化した警察犬に育てることに注力している。</p> <p>【委員】高齢となり警察犬を引退した後は、どのような生活をするのか。</p> <p>【警察】直轄警察犬の場合は、寿命を迎えるそのときまで警察が世話をする。 ～ 京都府南警察署へ移動 ～</p> <p>2 会長挨拶 司会 副署長</p> <p>3 署長挨拶</p> <p>4 協議 司会 会長</p> <p>(1) 諮問事項説明 警察犬の活動について～刑事課長</p> <p>【委員】警察犬というのは、相当ハードな訓練をしているものと思っていたが、係官からは、訓練は全体の約1割であって、残りは人とのコミュニケーションに費やすとの説明を受けた。係官と警察犬との間でふれあいを通じた信頼関</p> | | |

係の構築が重要なのだと感じた。

【警察】参考意見とさせていただきます。

【委員】私の警察犬の訓練のイメージとしては、常に訓練をしていて、時折、遊ばせるというものであった。しかし、実際は、普段の遊びやふれあいの中で警察犬との信頼関係を築いて、その信頼関係が訓練や実際の現場活動に生きるという説明を受けて驚いた。

また、全国嘱託警察犬競技大会において、京都府警察嘱託警察犬が優勝した旨を伺った。平素から係官は信頼関係の構築に非常に意識されて訓練に従事されていることが分かった。

【警察】参考意見とさせていただきます。

(2) その他

会 議
内 容

【警察】第2回京都府南警察署協議会の中で、河川管理道路における放置車両の問題が意見として出されたことを受けて、同道路を管理する京都府京都土木事務所と連携の上、当該道路におけるバリケードの設置を行い、問題の解消に至った。

また、南区に所在する企業へ搬出入する大型トラックの離合問題について、「警察から指導することはできないか。」との意見をいただいたことに関して、現地における調査を行った上、該当企業には、地域住民からの意見として伝えるとともに、対策を依頼した。

【委員】現地調査の上、企業へも地域住民の意見として伝えていただくなどの対応をしていただき感謝する。

5 事務連絡

令和6年度第4回京都府南警察署協議会は、令和7年2月に実施予定である。

以上

第3回京都府南警察署協議会の開催状況

